

2022年12月20日
住友生命保険相互会社

東京本社を東京ミッドタウン八重洲に移転 新しい働き方の実現へ ～つながる、ひろげる、先へいく。Challenge ∞ Change～

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、2023年2月13日に東京本社を東京ミッドタウン八重洲に移転します。

新東京本社では、「つながる、ひろげる、先へいく。Challenge ∞ Change」をグランドコンセプトとして先進のオフィススタイルを導入し、職員一人ひとりが新しい働き方にチャレンジすることを通じて、お客さまや社会に対して「住友生命ならではの」価値をお届けし、「一人ひとりのよりよく生きる＝ウェルビーイング」に貢献していきます。

また、住友生命のサステナビリティ経営方針では、「誠実な業務遂行および社会・環境課題の解決への取組みを通じて、持続可能な社会の実現に貢献する」ことを掲げています。新東京本社においても、ペーパーレス・ペーパーストックレスの推進や環境・社会への配慮に関するオフィスの各種認証の取得などを通じて、SDGs達成に向けた取組みを進めていきます。

<新東京本社の進化（現在との比較）>

コミュニケーション設備の充実				
コミュニケーション エリア（新設）	フリー ミーティング スペース	Webブース （新設）	カフェラウンジ	来客エリア
+1,225㎡	+70%	+72室	+58%	+44%
0 ⇒ 5ヶ所 (279席)	50カ所 ⇒ 85カ所	0室 ⇒ 72室	982㎡ ⇒ 1,412㎡	750㎡ ⇒ 1,191㎡
ワークスタイル・ワークプレイスの進化による効率化				
入居総面積	執務専用席	会議室	書類量	
▲24%	▲49%	▲48%	▲83%	
22,184㎡ ⇒ 16,939㎡	2,415席 ⇒ 1,226席	78室 ⇒ 40室	20,042箱 ⇒ 3,240箱 ^{※1}	
サステナビリティへの取組み				
年間 約1500トン の温室効果ガス排出量を削減				

※1 縦:325mm 横:430mm 高さ:300mmの段ボール箱（A4サイズ用紙が2列入るサイズ）

1. 新東京本社の概要

<移転日>

2023年2月13日（月）

<住所>

〒104 - 8430

東京都中央区八重洲2-2-1 東京ミッドタウン八重洲
八重洲セントラルタワー（20～24階）

<電話番号>03-3273-8000（代表）

<アクセス>

- ・JR、東京メトロ丸ノ内線「東京駅」地下直結（八重洲地下街経由）
- ・東京メトロ銀座線「京橋駅」7、8番出口徒歩3分
- ・東京メトロ東西線、銀座線、都営地下鉄浅草線「日本橋駅」B3出口徒歩6分



【東京ミッドタウン八重洲の外観】



2. 新東京本社のコンセプト

ポストコロナの環境変化や価値観の多様化が進む今の時代、多種多様な社内外の人々との交流・コミュニケーションによって「つながる」ことが、情報感度を高め、視野や人脈、可能性を「ひろげる」こととなります。そして、変化を恐れず挑戦し、外部とも協業していくことで先進の価値をつくりだし、「先へいく」ことを目指して、新時代のオフィスづくりを行いました。

住友生命は、新東京本社を「コミュニケーション・ハブ」として機能させ、「つながる、ひろげる、先へいく。」を实践し、新たな価値創造に取り組みます。

＜コミュニケーションを進化させるオフィス＞

グランドコンセプトの「つながる」「ひろげる」を実現するため、約2,000名が入居する新東京本社のオフィスは、フラットで良質なコミュニケーションと部門や企業の枠を超えたコラボレーションを促進するスタイルにします。



【フリーアドレス制を導入したオープンなオフィス】

22F東側 LIBRARY ライブラリー



22F西側 CAFE LOUNGE カフェラウンジ



21F東側 LIVING リビング



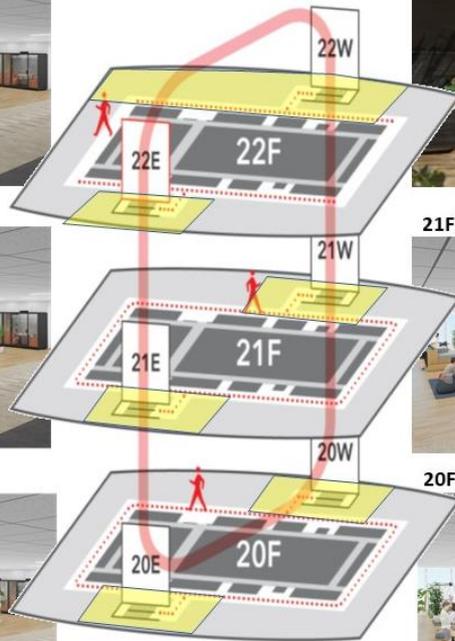
21F西側 CAMPUS キャンパス



20F東側 BAR バー



20F西側 HILLSIDE ヒルサイド



【「たて×よこ×ななめ」につながることでアイデアを創出するコミュニケーションエリア】



【社内外との新たなコラボレーションにつなげるスタジオ・プレゼンテーション発信型会議室】

＜新たな働き方への挑戦＞

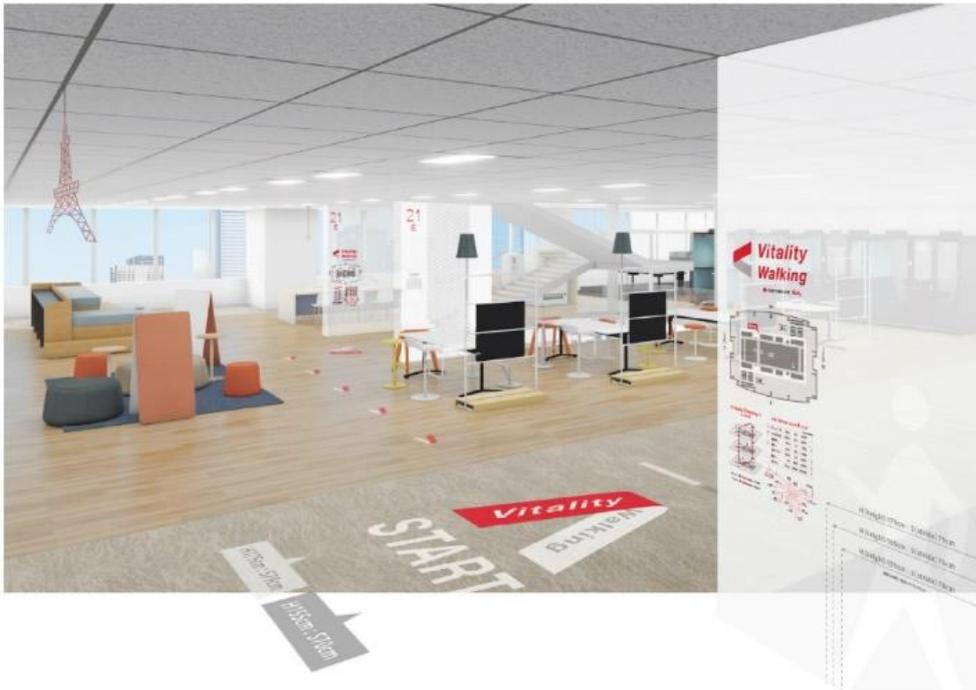
住友生命は、ABW (Activity Based Working) の考え方に基づき、従来から「時間と場所にとらわれない働き方」の浸透などを通じて職員が健康でいきいきと働く職場を実現し、組織としての一層のパフォーマンス向上を目指す「WPI (Work Performance Innovation)」プロジェクトを推進してきました。

今般、新東京本社への移転に先立ち、WPI プロジェクトをさらに進めるため、「業務プロセスとコミュニケーション」「働く場所と時間の組立て」について職員一人ひとりが自らと組織の生産性を高める方法を主体的に考え・対話し、行動に移すための指針として、「シン・働き方コンパス～みんなで創るイキイキワーク～」を策定しました。住友生命は、お客さまや社会のウェルビーイングにより一層貢献するため、新東京本社から新たな働き方に挑戦・追求し、全社に対してその伝播を図っていきます。

3. 健康経営への取組み

住友生命は、健康増進型保険“住友生命「Vitality」”の提供を核として、健康長寿社会の実現を目指しており、そのためには、職員自らも健康であることが大切だと考えています。

新東京本社では、健康に配慮したオフィス家具(昇降式デスク・エルゴノミクスチェア等)、インテリアグリーンを導入するほか、広大なオフィス面積(1フロア約4,100㎡)や内部階段を活かして、オフィス内に「Vitality ウォーキングコース」を設置し、役職員の健康増進活動をサポートします。また、カフェラウンジでは、健康に配慮したランチメニューを充実させ、食の面からも健康経営を推進していきます。



【Vitality ウォーキングコース】

4. サステナビリティに向けた取組み

住友生命は、「社会公共の福祉に貢献する」というパーパスのもと、果たすべき「ミッション（使命）」として、サステナビリティ経営方針を定め、社会・環境課題の解決への取組みを推進しています。新東京本社においても、2030年のSDGs達成、2050年のカーボンニュートラルに向けた取組みを行ってまいります。

<ペーパーレス・ペーパーストックレスの推進>

- ・新東京本社への移転を機にオフィス内に保管する書類を83%削減しました。
- ・移転後はICT機器（Web会議システム、デジタルサイネージ等）の充実により、紙の使用量削減への取組みを進めていきます。

<建物・オフィスを通じたSDGsへの貢献>

- ・新東京本社が入居する八重洲セントラルタワーはオフィスビルとして国内最大級の「ZEB Ready」※²認証取得物件であり、同水準の標準的な建物に比べて年間一次エネルギー消費量を50%削減しています。
- ・新東京本社は、生産性を高める多様なコミュニケーション設備や職員の健康増進サポート機能等が高く評価され、オフィスの健康性・快適性と建物の環境性能等を総合的に評価・認証する「CASBEE スマートウェルネスオフィス認証」※³の最高位（Sランク）を取得しているほか、国内トップクラスの卓越した「環境・社会への配慮」がなされた建物に付与される「DBJ Green Building 認証」※⁴の5つ星も取得しています。
- ・また、新東京本社では、再生可能エネルギー由来の電力を導入することで、年間約1500トンの温室効果ガス排出量を削減し、脱炭素への取組みを推進してまいります。

※² 詳細は、<https://www.env.go.jp/earth/zeb/detail/01.html>をご覧ください。

※³ 詳細は、https://www.ibec.or.jp/CASBEE/certification/WO_certification.htmlをご覧ください。

※⁴ 詳細は、https://www.dbj.jp/service/program/g_building/をご覧ください。



以上